

卓 話： 「ロータリー雑誌月間にちなんで」山崎 勲君



4月はロータリー雑誌月間です。北ロータリークラブは人員が少ないせいで、広報・会報・雑誌委員会が一つになっております。先ず雑誌委員会ですが、ロータリーの友に投稿するにしても何か話題になることをしなければなりません。南ロータリークラブではジャンボ滑り台寄贈の記事がロータリーの友、ザ・ロータリアンの英語版で紹介されております。北ロータリークラブも負けなで頑張りたいものです。広報委員会でも先に言ったことと同じことが言えます。クラブ会報委員会は一番大変な仕事で、先ず今日の週報を見ていただいて話しを進

めます。1頁目の行事・出席・先週のメイクアップ・ビジター・ゲスト等は事務局の五十嵐さんがまとめてくれます。会長挨拶は会長から原稿をいただきます。次に幹事報告も五十嵐さんがまとめてくれます。ニコニコボックス・ロータリー財団はたくさんあればスペースの配分が楽になります。卓話は内部卓話の時は原稿をいただくようにしていますが、中にはメモ程度のものを出されますと、外部卓話の時と同じに、テープから取りますと約4～6時間必要になりますので、なるべく親切な原稿をお願いします。理事会も五十嵐さんです。例会はプログラム委員からです。これで3頁です。週報の頁数は偶数頁になっていますので4頁目が残りました。何を入れるかが大変なことなのです。適当に原稿を出せば週報ができる訳ではありません。今回は私が卓話で喋る内容をそっくり載せてしまいました。最後に週報委員会にもっと御協力をお願い致します。

4月18日例会： 外部卓話 つわぶき会代表 捧 典子様

4月25日例会： コロニー白岩の里慰問 夕日をめでる会



三条北ロータリークラブ週報

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

ロータリーに活力を—あなたの活力を

国際ロータリー会長 ロイス・アビー 第256地区ガバナー 榎内悌三郎

例 会 日

1989. 4 . 11

累 計 No 118

当 年 No 39

会 長／梨 本 清 一

幹 事／今 井 克 義

S A A／米 山 忠 俊

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行 事： 卓話「ロータリー雑誌月間にちなんで」山崎 勲君

出 席： 本日の出席 46名中35名

先週の出席率 44名中37名 84.09%

先週のメイクアップ： 4月4日 東京荒川RCへ 吉川吉彦君

4月5日 三条RCへ 中條耕二君 河井増雄君 坂内康男君

ビ ジ タ ー： 三条RCより 渡辺惣吉君 藤村義彦君 山本福七君 五十嵐晋三君

轡田秋夫君

三条南RCより 佐藤英一君

会 長 挨 拶： 梨本清一

一杯のかけそば

この物語は今から15年ほど前の12月31日札幌の街にあるそば屋「北海亭」での出来事からはじまる。大晦日夜の十時すぎ、北海亭の最後の客が店を出たとき、2人の子どもを連れた女性が入ってきた。6歳と10歳くらいの男の子は、真新しい揃いのスポーツウェア姿で、女性は季節はずれのチェックの半コートを着ていた。「いらっしやいませ、！」と迎える女将に、その女性はおずおずと言った。「あのー…かけそば…1人前なのですが…よろしいでしょうか」後ろでは、2人の子どもが心配顔で見上げている。「えっ…ええどうぞ。どうぞこちらへ」暖房に近い2番テーブルへ案内しながら、カウンターの奥に向かって、「かけ一丁、！」と声をかける。「あいよっ、！かけ一丁、！」とこたえた主人、玉そば1個とさらに半個を加えてゆでる。玉そば1個で1人前の量である。やがて大盛りの分量のそばがゆであがる。テーブルに出された一杯のかけそばを囲んで、額を寄せあって食べている3人の話し声が、カウンターの中までかすかに届く。「おいしいね」と兄。「お母さんもお食べよ」と1本のそばをつまんで、母親の口に持っていく弟。やがて150円の代金を支払い、「ごちそうさまでした」と頭を下げて出ていく母子3人に、「ありがとうございました、！どうかよいお年を、！」と声を合わせる主人と女将。新しい年を迎えた北海亭は、あいかわらずの忙しい毎日

の中で一年がすぎ、再び12月31日がやってきた。10時をすぎたところで、店を閉めようとしたとき、2人の男の子を連れた女性が入ってきた。女将は女性の着ている半コートを見て、1年前の大晦日、最後の客を思い出した。「あのー…かけそば…1人前なのですが…よろしいでしょうか」「どうぞどうぞ。こちらへ」女将は、昨年と同じ2番テーブルへ案内しながら、「かけ一丁、／」と大きな声をかける。「あいよ、／かけ一丁」と主人はこたえながら、消したばかりのコンロに火を入れる。「ねえお前さん、サービスということで3人前、出してあげようよ」そっと耳打ちする女将に、「だめだ。そんな事したら、かえって気をつかうべ」と言いながら玉そば1つ半をゆであげる主人。テーブルの上の、1杯のそばを囲んだ母子3人の会話が、カウンターの中と外の2人に聞こえる。「…おいしいね…」「今年も北海亭のおそば食べれたね」「来年も食べれるといいね…」食べ終えて、150円を支払い、出て行く3人の後ろ姿に、「ありがとうございました、／どうかよいお年を、／」その日、何十回とくり返した言葉で送り出した。商売繁盛のうちに迎えたその翌年の大晦日の夜、9時半をまわったところで従業員を帰した主人は、壁に下げてあるメニュー札を次々と裏返した。今年の夏に値上げして「かけそば200円」と書かれていたメニュー札が、150円に早変わりしていた。2番テーブルの上には、すでに30分も前から「予約席」の札が女将の手で置かれている。10時をすぎて、店内の客足がとぎれるのを待っていたかのように、母と子の3人連れが入ってきた。兄は中学生の制服、弟は去年兄が着ていた大き目のジャンパーを着ていた。2人とも間違えるほどに成長していたが、母親はすっかりと色あせたあのチェックの半コート姿のままだった。「いらっしやいませ、／」と笑顔で迎える女将に、母親はおずおずと言う。「あのー…かけそば…2人前なのですが…よろしいでしょうか」「えっ…どうぞどうぞ。さぁこちらへ」と2番テーブルへ案内しながら、そこにあった「予約席」の札を何気なく隠し、カウンターに向かって、「かけ二丁、／」それを受けて、「あいよ、／かけ二丁、／」とこたえた主人、玉そば3個を湯の中にほうり込んだ。2杯のかけそばをたがいに食べあう母子3人の明るい笑い声が聞こえ、話も弾んでいるのがわかる。カウンターの中で、思わず目と目を見かわして微笑む女将と、例の仏頂面のまま、ウンウンとうなずく主人である。「お兄ちゃん、淳ちゃん…今日は2人に、お母さんからお礼が言いたい」「…お礼って…どうしたの」「実はね、死んだお父さんが起こした事故で、8人もの人にけがをさせ迷惑をかけてしまったんだけど…保険などでも支払いできなかった分を、毎月5万円ずつ払い続けていたの」「うん、知っていたよ」と兄。女将と主人は身動きしないで、じっと聞いている。「支払いは年明けの3月までになっていたけれど、実は今日、ぜんぶ支払いを済ますことができたの」「えっ、／ほんとう、お母さん、／」「ええ、ほんとうよ。お兄ちゃんは新聞配達をしてがんばってくれてるし、淳ちゃんがお買い物や夕飯のしたくを毎日してくれたおかげで、お母さん安心して働くことができたの。よくがんばったからって、会社から特別手当をいただいたの。それで支払いをぜんぶ終わらすことができたの」「お母さん、／お兄ちゃん、／よかったね、／でも、これからも、夕飯のしたくはボクがするよ」「ボクも新聞配達、続けるよ。淳、／がんばろうな、／」「ありがとう。ほんとうにありがとう」「今だから言えるけど、淳とボク、お母さんに内緒にしている事が

幹事報告： 今井幹事

◇吉田RC例会変更

4月21日(金)→4月20日(木)合同観桜会 会場 燕市、明治屋新館

新入会員紹介

氏 名 小林 満君
生年月日 昭和24年2月4日
会 社 名 (株)小林金型工業所(プラスチック金型製造)
役 職 代表取締役
会 社 住 所 栄町帯織9237 ☎45-5060
自 宅 住 所 三条市西裏館2-5-2 ☎34-5198
家 族 構 成 父栄二郎、母ヨキ、
妻正子、長女麻子、次女栄里子、三女綾子
結婚記念日 昭和46年10月16日



氏 名 杉浦光雄君
生年月日 昭和22年6月7日
会 社 名 朝日生命保険相互会社三条営業所
役 職 所 長
会 社 住 所 三条市一ノ門2-2-23 ☎33-0267
自 宅 住 所 三条市下坂井622-1 ☎38-1090
家 族 構 成 妻晶子、長女貴帆、次女聡子
結婚記念日 昭和50年12月13日



ニコニコBOX：

梨本清一君 吉田営業所を開設しました。昨日営業開始を致しました。私にとって営業所は初めての経験です。

米山忠俊君 小林満君、杉浦光雄君両君の入会を歓迎して。

角田宏衛君 小林満君の入会を記念して。

外山晴一君 小林満君のご入会を歓迎いたします。

河井増雄君 小林さん、杉浦さんの入会を歓迎して。

余裕金・満期金はひとまず

ホーム財テクの主役

中期国債ファンド

新和証券

三条営業所

電話 (0256) 34-2151 (代表)
FAX (0256) 35-5445